

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 2 部門第 4 区分
【発行日】 令和 6 年 3 月 29 日 (2024.3.29)

【国際公開番号】 WO2023/277060
【出願番号】 特願 2022-542766 (P2022-542766)

【国際特許分類】

B 3 2 B 17/10 (2006.01)

C 0 8 G 59/68 (2006.01)

G 0 2 B 1/14 (2015.01)

10

【F I】

B 3 2 B 17/10

C 0 8 G 59/68

G 0 2 B 1/14

【手続補正書】

【提出日】 令和 4 年 7 月 12 日 (2022.7.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

20

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

厚さが 200 μm 以下の薄板ガラスと、前記薄板ガラスの少なくとも一方の側に配置される、厚さ 5 μm 以上の樹脂層とを有し、
前記樹脂層の破断エネルギーが 1 mJ/mm^3 以上であり、かつ、25 $^{\circ}\text{C}$ における貯蔵弾性率が 2500 MPa 以下であることを特徴とする積層体。

【請求項 2】

30

前記樹脂層のヤング率が 50 MPa 以上、1500 MPa 以下である請求項 1 記載の積層体。

【請求項 3】

前記樹脂層の 25 $^{\circ}\text{C}$ における貯蔵弾性率が 2000 MPa 以下である請求項 1 記載の積層体。

【請求項 4】

前記樹脂層のガラス転移温度が 100 $^{\circ}\text{C}$ 以下である請求項 1 記載の積層体。

【請求項 5】

前記樹脂層がカチオン硬化性樹脂の重合体を含む請求項 1 記載の積層体。

【請求項 6】

40

前記薄板ガラスの一方の側に配置される、厚さ 5 μm 以上の第 1 の樹脂層と、
前記薄板ガラスの前記第 1 の樹脂層側とは反対側に配置される、厚さ 5 μm 以上の第 2 の樹脂層と、を有し、
前記第 1 の樹脂層及び前記第 2 の樹脂層がいずれも、破断エネルギーが 1 mJ/mm^3 以上であり、かつ、25 $^{\circ}\text{C}$ における貯蔵弾性率が 2500 MPa 以下である
請求項 1 記載の積層体。

【請求項 7】

前記第 1 の樹脂層及び前記第 2 の樹脂層がいずれも、ヤング率が 50 MPa 以上、1500 MPa 以下である請求項 6 記載の積層体。

【請求項 8】

50

厚さが $200\text{ }\mu\text{m}$ 以下の薄板ガラスと、前記薄板ガラスの少なくとも一方の側に配置される、厚さ $5\text{ }\mu\text{m}$ 以上の樹脂層とを有し、
前記樹脂層のヤング率が 50 MPa 以上、 1500 MPa 以下であることを特徴とする積層体。

【請求項 9】

前記樹脂層の破断エネルギーが $1\text{ mJ}/\text{mm}^2$ 以上である請求項 8 記載の積層体。

【請求項 10】

前記樹脂層の 25°C における貯蔵弾性率が 2500 MPa 以下である請求項 8 記載の積層体。

【請求項 11】

前記樹脂層のガラス転移温度が 100°C 以下である請求項 8 記載の積層体。

【請求項 12】

前記樹脂層がカチオン硬化性樹脂の重合体を含む請求項 8 記載の積層体。

【請求項 13】

前記薄板ガラスの一方の側に配置される、厚さ $5\text{ }\mu\text{m}$ 以上の第 1 の樹脂層と、
前記薄板ガラスの前記第 1 の樹脂層側とは反対側に配置される、厚さ $5\text{ }\mu\text{m}$ 以上の第 2 の樹脂層と、を有し、
前記第 1 の樹脂層及び前記第 2 の樹脂層がいずれも、ヤング率が 50 MPa 以上、 1500 MPa 以下である
請求項 8 記載の積層体。

【請求項 14】

前記第 1 の樹脂層及び前記第 2 の樹脂層の少なくとも一方が、 25°C における貯蔵弾性率が 3000 MPa 以下である請求項 13 記載の積層体。

【請求項 15】

前記第 1 の樹脂層及び前記第 2 の樹脂層の少なくとも一方が、厚さ $25\text{ }\mu\text{m}$ 以下である請求項 6 記載の積層体。

【請求項 16】

前記第 1 の樹脂層及び前記第 2 の樹脂層の少なくとも一方が、厚さ $25\text{ }\mu\text{m}$ 以下である請求項 13 記載の積層体。

【請求項 17】

前記第 1 の樹脂層及び前記第 2 の樹脂層の少なくとも一方が、ガラス転移温度が 100°C 以下である請求項 6 記載の積層体。

【請求項 18】

前記第 1 の樹脂層及び前記第 2 の樹脂層の少なくとも一方が、ガラス転移温度が 100°C 以下である請求項 13 記載の積層体。

【請求項 19】

前記第 1 の樹脂層及び前記第 2 の樹脂層の少なくとも一方が、カチオン硬化性樹脂の重合体を含む請求項 6 記載の積層体。

【請求項 20】

前記第 1 の樹脂層及び前記第 2 の樹脂層の少なくとも一方が、カチオン硬化性樹脂の重合体を含む請求項 13 記載の積層体。

【請求項 21】

請求項 1 ～ 20 のいずれかに記載の積層体を備える電子機器。

【請求項 22】

請求項 1 ～ 20 のいずれかに記載の積層体の樹脂層を形成するために用いられる樹脂組成物。

【請求項 23】

請求項 1 ～ 20 のいずれかに記載の積層体を備えるカバーガラス。

10

20

30

40

50